



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	演習
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1956
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77315
Type	manuscript
File Information	K007_0131.pdf



NOTE BOOK

Most advanced quality

Gives best writing features

演習白

昭和三十一年度



NISSHO

日章ノート A I

才一(四) 五月二十九

廣智の時を知らずは教授方針を

才二回

五月十六日

布施君の発表。

（日付）

都市に於ける

直島家族より夫婦家族への

移行の事実及びその異作の

原因の究明。才一回。

才四回 五月三十日

戸田君発表

口民社学における。東洋の
同の文化の社会の交流に
ついて。アイスカンカン高調
い進し四時半近く即ち五時
子近くまでつく。答へた
戸田君発表。

第五回 六月より

須田忠發表

「家と教名」の下

何んか非キリスト教の位に
結婚するは、自らもさうなる。
キリスト教の聖人を拝してはあ
まうなる。私がさうであ
は子もさうなる。キリスト教
家の壁の内にアムは、因襲
あるか、アムは家の内では
交つて存続の可能地から
なる。以上の事の実地

才六回 六月二十日

現地演習——大森のバスを用いて

豊平川車橋より堤防を經て

サハライ母帝海親家。

富子助才の説明。

それより、琴の行方、力重

活地区による都市域決定の

調査につぎ、大森院領田の

説明

さらに中央青物市場に於て

青物集散について、豊永村

君の調査報告あり

中央青物市場は中止

移り似より手掘の方面の

海の足元を高台までトラップして

四軒半吹崎校

才七回

三月二十七日

佐治君の恩根内調査報告。

才八回 十月三日

今日は教員より模定試験の準備。
調査室に行き、各先生と、新法。
息切れ強しく、二丁位毎に停止。

才九 (四)

十月十日

宝鏡沿線の市街地の洞壺報告

小林正人君発表 布施見福呈

オチ園 十月十七日
オチ園のオチ園のフツツの発表

十月
第十一回 二十四日

今日は現地演習として
赤米尾に共同龍取見所の
予定なりし也、凡雨烈しく
休講とす。この日大大学院より二人
即ち二人は赤米尾の多田
は赤米尾のみ赤米尾にたつ。

市十二回 十月三十一日

(凡雨引し)

今日は凡雨引しかりしも~~雨~~演習
度施の予定なりしと云ふ年代迄
とししとある所の~~多~~田見あり
くは^{HBC}就職試験受験のため大部
分のお見欠席のため休講ししとせ
いたしとの事にて休講とし~~て~~お
せり。

才十三回

十一月七日

(凡雨、自働車、多田人)

多田人よりのわ村人の報告に、

いふは、同報告の如き、同回を

山田人報告。

才田回

十一月十四日

調布と室にわたる笹井氏の内地
旅行の報告（学多・川崎調布
岩手縣の新市調布）
今には特に岩手縣の新市の調
布の報告ありたり。

才十五回十一月二十一日

富川助平の平坂アイヌ
部落の社会人類学的調
査研究報告。スライトを
用ふ。此調査には、先住民
協力せよといふ。

第十六回 十一月二十八日 事
須田君の土佐清水市を中心
に新市に因す。調査研究
の発表。